



[医療法人溪仁会 西円山病院 広報誌]

# にしまるやま通信

NISHIMAYAMA TSUSHIN SHIMAZUMAYAMA SHINRYU MA TSUSHIN



- リハビリの目的とリハビリの心 ●職員紹介「放射線科」
- 第19回ボランティアグループ「銀の舟」主催文化祭兼バザー
- ボランティア活動紹介

## \*\*西円山病院 外来のご案内\*\*

- 診療科目 内科・リハビリテーション科・神経内科・歯科
- 診療 午前9:00～12:00  
午後2:00～4:00
- 休診 土曜日・日曜日・祝日

# リハビリの目的と リハビリの心

私達はいまだかつてない長い人生を享受できる時代に生きています。この長い人生の間には病気やけがをすることもありますが、病気やけがをうまくかわせたとしても、最後は誰もが老化による心身の障がいと向き合わなければなりません。病気、けが、老化によってもたらされる障がいの治療や予防は可能ですが、仮

に障がいが残った時に「住み慣れた地域で安心して暮らしていける」ため

にはさまざまな援助、すなわちリハビリが必要になります。

リハビリでいう援助とは

単純な手助けではなく、その人の持っている力を十分に引き出して、再び「その人自身が生きがいや自信を持って生きていける」ことを目的として

ています。リハビリが全人間的復権を目指すといわれる理由はここにあります。

大きなけがで中途失明となり、利き腕を失った方のリハビリを担当したことがあります。社会復帰されたその方は、こう話してくれました。「視力が失われ、利き腕までをなくしてしまい、本当に人生が終わってしまったと考えたこともありました。ですが、リハビリで多くの人と関わるうちに、自分は心の眼や体全部までも失われたわけではないと気がつき、その時何か新しい人生に向かってそっと背中を押された感じがしたのです。利き手交換や歩行訓練も社会復帰には大切なリハビリでしたが、失われたものよりも残っているものの大切さに気づかせてくれたことが自分にとってのリハビリでした。」

できないことを悔やむよりも、できたことを一緒に喜び新しい生活に役立てていこう、リハビリの技術はもとよりリハビリの心も大切であると、私たち西円山病院のリハビリスタッフは考えています。



西円山病院  
リハビリテーション科医師  
横串 算敏 先生



職

員

紹

介

## 「放射線科」

放射線科業務としては、大きく分けま  
すと二つの検査があります。

一つはX線CTです。X線を使用して  
全身の断層撮影を行います。

もう一つは一般X線撮影です。いわゆ  
るレントゲン撮影と呼ばれていますが、  
X線を患者様の検査目的部位に照射後、  
CRというコンピューターを用いて診  
断に最適な条件で画像処理を行いかつ  
X線フィルムとして出力します。

検査の内容等ご不明な点がありまし  
たら、ご連絡下さい。



## 第19回ボランティアグループ「銀の舟」主催文化祭兼バザー ～10月10日(月)開催～

今年も西円山病院にて、恒例行事であります  
バザーを10月10日(月)に行います。

今年もより多くの地域の方々にもご来院して  
いただきたく、ボランティアの皆様と準備を進め  
ています。内容は屋台コーナーや手作り品・リサ  
イクル品の販売、芸能コーナーや病棟への出張販  
売などを計画しています。この行事を毎年楽しみ  
にされている患者様・利用者様も多く、ご家族も  
多数ご来院され大変な賑わいをみせています。皆  
様の多数のご来院をお待ちしております。それ  
に伴い、バザー用品のリサイクル品を募集してお  
りますのでご家庭で眠っていますご寄贈いただ  
ける品物のご提供をよろしくお願いします。

※ また手芸作品をご提供させていただくための毛糸・布もあわせて募集しています。

寄贈品の受付は10月3日までです。ご不明な点がございましたら、「にしまるやま通信」編集事務局  
までお問い合わせください。



受け付しているもの

贈答品・引き出物・石鹸  
コップ・タオル(新品)等



受け付していないもの

衣類・ふとん・書籍・靴・  
汚れ、破損のひどいもの等

# ボランティア 活動紹介

## 囲碁レクリエーション



今回は「囲碁レクリエーション」のご紹介です。囲碁レクリエーションは毎週、決まった曜日に患者様とボランティアが対面で対局をします。勝利へのあくなき執念を燃やしている方や、ボランティアと色んなお話をしながら対局をされる方、はたまた活動前に戦略をじっくり練って臨まれる方もいます。活動への思いは患者様さままでですが、1時間程度のボランティアとの交流を皆様楽しまれているようです。ボランティアの方々も親切に対応し一緒に楽しんでいます。

## 編集後記

ついに夏が到来しました。この号が出る頃お天気はいかがでしょう。先日知床半島が世界遺産へ登録される喜ばしいニュースがありました。環境保全への取り組み等課題も多いようですが、めまぐるしい日々の中、少しでも明るい話題が増える事を願わずにはいられません。ときには当院屋上から円山一帯の景色を眺めて自然と共にリフレッシュしてみたいはいかがですか。(M・H)

すべての  
お問い合わせは

郵便 〒064-8557  
札幌市中央区円山西町4丁目7-25 西円山病院 医療福祉課内  
広報誌「にしまるやま通信」編集事務局

電話 (011) 644-1380  
FAX (011) 642-4347

お気軽に  
お問い合わせ下さい

## ● 無料送迎バスのご案内 ● (平成14年12月)

	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時
地下鉄駅発	55	35	15	10		10	30		*00	*50	*30	*10	*30	*35
				50					*40			*50		
西円山病院発		15	50	30	10		10	40	20	30	10	30	05	25
		55			50						50			

※のバスは地下鉄円山公園駅⑤番出口出発、その他はすべて①番出口となります。